



第1期

株主通信

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで



OSJBホールディングス株式会社

株主の皆様へ

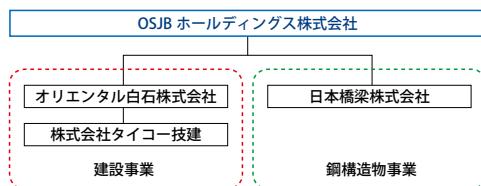
株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第1期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の事業の概況等についてご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

なお、当社は平成26年4月1日に純粋持株会社へ移行したことに伴い、平成27年3月期を第1期に変更しております。

また、当社グループは、オリエンタル白石株式会社との経営統合によりグループ全体の事業内容が大きく変化したことから、東京証券取引所における当社株式の所属業種の分類も、平成26年10月1日より「金属製品」から「建設業」に変更となっております。

現在の当社のグループ体制は以下のとおりとなっております。



当社グループは、人と技術を活かし、社会基盤整備を通じて、人々の夢と将来に貢献する企業グループであり続けるとともに、企業価値の最大化を図ってまいります。皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月



代表取締役社長
井岡 隆雄

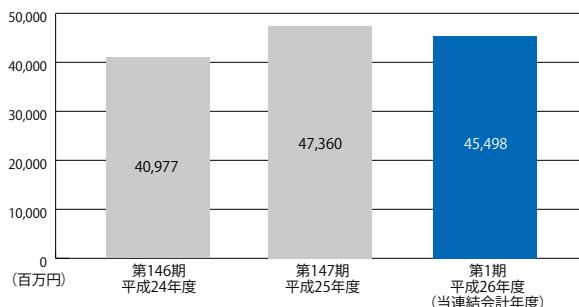
■ 当期の業績の概要

当社グループは、平成23年12月のオリエンタル白石株式会社と日本橋梁株式会社の経営統合後、橋梁上部工(プレストレストコンクリート橋・鋼橋)、橋梁下部工、基礎工、及び維持補修工の幅広い分野を網羅する「橋梁の総合建設会社」として、グループの事業を拡大・発展させてまいりました。

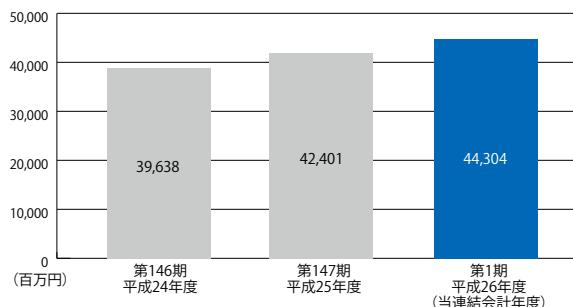
以上のような事業活動の結果、当連結会計年度における受注高は454億9千8百万円(前年度同期比3.9%減)、売上高は443億4百万円(前年同期比4.5%増)、受注残高は433億7千3百万円(前年同期比2.8%増)となりました。損益面では、原価低減や経費削減等による利益率の向上により売上総利益は49億3千万円(前年同期比20.2%増)、営業利益は16億7千8百万円(前年同期比39.4%増)、経常利益は17億1千6百万円(前年同期比42.0%増)となりました。当期純利益につきましては、前連結会計年度は訴訟損失引当金戻入額等の特別利益計15億8千2百万円を計上しておりましたが、当連結会計年度は計上がないことにより、12億5百万円(前年同期比57.0%減)となりました。

■ 財務ハイライト

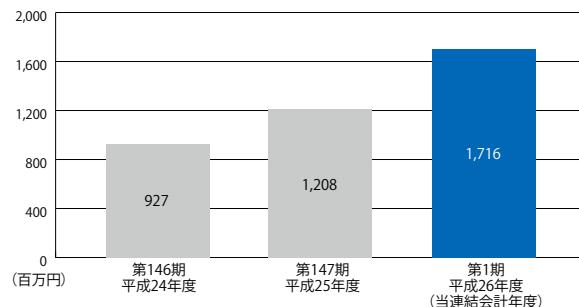
● 受注高



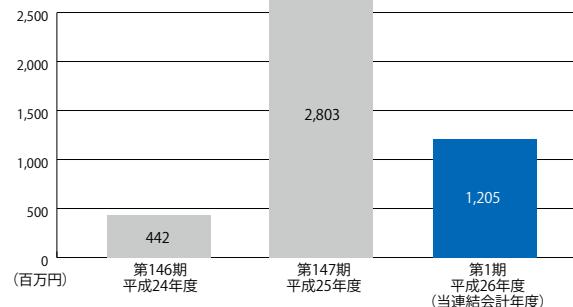
● 売上高



● 経常利益



● 当期純利益



■ 来期の見通し

公共投資関連の市場におきましては、震災復興関連事業や東京オリンピック開催に向けて見込まれる公共投資等によって事業量が回復傾向にあり、当面はその水準が持続する見通しです。一方、材料費、労務費等の建設コストの高騰は、工事採算に大きく影響を与える可能性があり、また企業間の受注獲得競争も非常に厳しい状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは受注量確保と事業採算性向上のバランスを重要視し、高い技術力に裏付けられた競争優位性を持つプレストレストコンクリート工法、ニューマチックケーソン工法、構造物の補修補強に係る特殊工法などに経営資源を集中させて経営基盤の強化を図ってまいります。

当該状況を勘案し、次期の通期連結業績予想は、売上高450億円、営業利益18億円、経常利益18億円、親会社株主に帰属する当期純利益13億円としております。

■ 財務諸表の概況

● 連結貸借対照表

(平成27年3月31日現在)
(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
〔資産の部〕		〔負債の部〕	
流 動 資 産	30,413	流 動 負 債	14,684
現金及び預金	11,408	支払手形・工事未払金	7,999
受取手形・完成工事未収入金	16,463	1年内返済予定の長期借入金	180
未成工事支出金	296	1年内償還予定の社債	100
材料貯蔵品	144	未払金	1,675
繰延税金資産	428	未払法人税等	436
立替金	1,383	未成工事受入金	1,810
その他	310	預り金	1,273
貸倒引当金	△21	工事損失引当金	737
		完成工事補償引当金	75
		その他	396
固 定 資 産	8,737	固 定 負 債	4,523
有 形 固 定 資 産	7,354	社債	350
建物及び構築物	929	繰延税金負債	320
機械及び装置	2,357	退職給付に係る負債	3,849
土地	3,760	その他	3
その他	307	負 債 合 計	19,208
無 形 固 定 資 産	43		
投 資 そ の 他 の 資 産	1,339	〔純資産の部〕	
投資有価証券	757	株 主 資 本	19,832
破産更生債権等	715	資本金	1,000
繰延税金資産	363	資本剰余金	453
その他	275	利益剰余金	18,387
貸倒引当金	△771	自己株式	△8
		その他の包括利益累計額	110
		その他有価証券評価差額金	117
		退職給付に係る調整累計額	△7
		純 資 産 合 計	19,942
資 産 合 計	39,150	負 債 純 資 産 合 計	39,150

●連結損益計算書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)
(単位:百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		44,304
完 成 工 事 高		
売 上 原 価		39,374
完 成 工 事 原 価		
売 上 総 利 益		4,930
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		3,251
営 業 利 益		1,678
営 業 外 収 益		
債 務 取 崩 益	73	
そ の 他	61	135
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	24	
前 受 金 保 証 料	24	
社 債 発 行 費	14	
固 定 資 産 処 分 損	10	
そ の 他	23	97
経 常 利 益		1,716
特 別 損 失		
訴 訟 損 失 引 当 金 繰 入 額	23	23
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益		1,693
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	606	
法 人 税 等 調 整 額	△ 118	488
少 数 株 主 損 益 調 整 前 当 期 純 利 益		1,205
当 期 純 利 益		1,205

●連結株主資本等変動計算書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)
(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主 資本合計
当期首残高	1,000	453	17,427	△ 6	18,874
当期変動額					
剰余金の配当			△ 244		△ 244
当期純利益			1,205		1,205
自己株式の取得				△ 2	△ 2
株主資本以外の 項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	960	△ 2	958
当期末残高	1,000	453	18,387	△ 8	19,832

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	97	△ 208	△ 111	18,763
当期変動額				
剰余金の配当				△ 244
当期純利益				1,205
自己株式の取得				△ 2
株主資本以外の 項目の当期変動額(純額)	20	201	221	221
当期変動額合計	20	201	221	1,179
当期末残高	117	△ 7	110	19,942

独自工法と特化技術で 社会基盤を創造する

■ プレストレストコンクリート工法

プレストレストコンクリートとは、プレ=あらかじめ、ストレスト=圧力を入れた、コンクリートのことです。鉄筋の5~6倍の強度がある鋼材を引っぱって緊張した後に、コンクリートと固定。鋼材が元に戻ろうとする力を使ってコンクリートを圧縮します。

こうして作られたプレストレストコンクリートは、とても強度が高く耐久性に富むことから、さまざまな構造物に活用でき、また地震にも強いいため、特に安全性が重視される橋梁や鉄道、上下水道の貯水槽、公共施設などに積極的に取り入れられています。当社は国内屈指のリーディングカンパニーとして、橋梁をはじめとするプレストレストコンクリートの施工技術をけん引し続けております。



■ ニューマチックケーソン工法

ニューマチックケーソン工法のニューマチックは「空気の」、ケーソンは「函(はこ)」の意味で、潜函工法ともいわれます。地上でコンクリート構造物「函」を構築し、その下部に設けた作業室で掘削し、地中深くに構造物を沈設させる工法です。地下水の浸入を防ぐため、作業室には圧縮空気を送ります。この工法は作業室内の空間で地盤を確認しながら掘削・排土して「函」を沈めていくことで、あらゆる地盤に対応可能です。長大橋梁の基礎やポンプ場など、数多くの地下施設に活用されています。当社は本工法を日本に導入、発展させてきたパイオニアであり、世界最高の技術と施工実績を誇っております。



常に社会から必要とされる集団であるために

大いなる自然と大地、未来を見つめる都市を舞台に橋梁、高速道路、鉄道やライフライン施設など多種多様な社会資本を構築してきました。人々の暮らしに潤いをもたらし、安全を約束する社会資本の建設には、当社の施工実績と研究開発によって培われブラッシュアップされた技術の数々が活用されています。これからも、都市環境の整備や新たなインフラ構築のほか、既存のインフラの補修・補強、巨大地震やゲリラ豪雨などへの災害対策にも尽力し、「人と技術を活かし、常に社会から必要とされる集団を目指す」という経営理念のもと、着実な発展を続けてまいります。

■ PC建築

プレストレストコンクリートは、ひび割れやたわみを抑制し、かつ梁せいを抑えたスレンダーなロングスパン梁を可能にすることにより、無柱大空間が求められる大学の大教室、体育館、企業の執務室など様々な建物に利用されています。

また、工場で製作した柱や梁などのプレキャスト部材をプレストレスにより一体化させ、建物を構築するプレキャストプレストレストコンクリートを用いると、現場における工期短縮や、現場廃棄物の削減、騒音の低減など環境負荷の保全にも有効であり、造形美に優れるとともに高品質で耐久性の高い建築物を造ることができます。

当社はPC建築のパイオニアとして、これからも利用者が安全で快適に過ごせる建築物を提供してまいります。



■ 補修・補強

1960年代以降急速に整備が進んだ社会基盤も、今や約半世紀の時を経て老朽化が問題視され、インフラの更新や維持管理は、まさに喫緊の課題として対応を迫られています。

当社は、来るべき「社会基盤のリニューアル時代」を予測し、社会のニーズに応えるべくさまざまな補修・補強、メンテナンス技術を開発しています。

当社は耐震化などの国土強じん化やインフラ老朽化対策に高い技術と独自の工法で他に代え難い存在感を発揮し、インフラ整備に貢献してまいります。



太陽光発電による売電事業開始

オリエンタル白石株式会社は、再生可能エネルギー特別措置法に基づく「固定価格買取制度」を利用した売電事業を平成27年4月10日より開始いたしました。

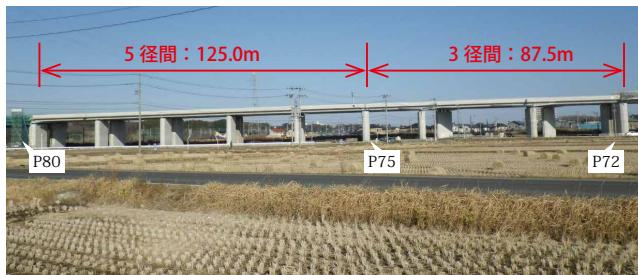
売電開始に先立ち、平成27年3月17日に発電事業の成功を祈念して、地元関係者らを招き開所式を行いました。開所式では、主催者であるオリエンタル白石株式会社社長井岡隆雄から、『当社は、プレストレストコンクリート技術による構造物の高耐久化や、産業廃棄物である高炉スラグ、フライアッシュなどを用いたプレキャスト製品の低炭素化など、環境保全に資する技術開発を行ってきた。また、現在も戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)で、産業廃棄物を使用しながらコンクリート床版の耐久性が飛躍的に向上する高炉スラグ細骨材の活用に先鞭をつけようと、岡山大学と共同研究を行っている。今回の、西脇市における売電事業は、遊休地の有効利用ということだけでなく、当社の品質・環境方針の一つである「省資源、省エネルギー、低炭素を可能とする技術開発に尽力し、地域社会に貢献する」活動の一環でもある。』と挨拶を行いました。

なお、当発電所の太陽光パネル設置基礎の一部には、強風時の安定性や施工性を高めることを目的に、自社工場で作成したプレストレストコンクリート製のプレキャスト部材を用いております。

- 【事業所名】 オリエンタル白石 西脇太陽光発電所
- 【所在地】 兵庫県西脇市上比延町
- 【敷地面積】 約27,000㎡(西脇工場敷地83,000㎡のうちの一部)
- 【発電規模】 1.5MW



高崎地区PC上部工工事



本工事は、復興道路である仙塩道路の4車線化事業の一環工事で、平成25年度に竣工した一本柳地区(P13~P18)・八幡地区(P18~P28)工事と同様に仙台北IC~利府JCT間(全長3.7km)の橋梁上部工工事のうち8径間(P72~P80)を施工したものです。

多賀城高架橋はPC橋が87径間、鋼橋が44径間から成り、そのうち当社では合計23径間のPC橋を施工し、本工事は平成27年1月に無事竣工することができました。本橋梁は全て場所打ち工法のPC中空床版橋です。

- 【契約工事名称】 高崎地区PC上部工工事
 【発注者名】 国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
 【工事場所】 宮城県多賀城市市川地内
 【工期】 平成25年11月16日~平成27年1月9日
 【工事概要】 3径間連続PC中空床版橋、5径間連続PC中空床版橋
 橋長:87.5m(3径間)+125.0m(5径間)
 支間長:(28.700+38.000+19.250m)、(24.250+3@25.000+24.255m)
 有効幅員:10.660m(0.330+1.750+7.000+1.250+0.330m)
 活荷重:B活荷重、斜角:90°00'00"、平面線形:R=3000m

牧港高架橋下部工工事



本工事は、近隣国道の交通混雑を緩和し、那覇空港・港湾へのアクセス向上を目的として計画されました。沖縄西海岸道路事業浦添北道路のうち牧港高架橋の下部工(P4、P5)2基をニューマチックケーソン工法により施工する工事です。

特にP5橋脚のケーソンは、掘削深度が61.3m、最終作業気圧は0.61Mpaと想定され、現時点では世界最高気圧でのニューマチックケーソン工事となる予定です。

厳しい作業条件(高気圧作業)の対策として、ヘリウム混合ガス呼吸システムの採用や当社が開発した無人化技術により掘削機械の自動メンテナンス、平板載荷試験及びロボットを利用した掘削機械の解体を実施する計画です。

- 【契約工事名称】 牧港高架橋下部工工事
 【発注者名】 内閣府沖縄総合事務局 開発建設部 南部国道事務所
 【工事場所】 沖縄県浦添市牧港地内
 【工期】 平成25年6月19日~平成27年7月31日
 【工事概要】 ケーソン2基
 P4=φ7.6m×12.6m(小判型) 掘削深さ 43.79m 作業気圧(0.433Mpa)
 P5=φ13.0m×16.1m(小判型) 掘削深さ 61.32m 作業気圧(0.608Mpa)
 仮橋・仮栈台工 1式
 締切築島工 1式
 磁気探査(爆弾探査) 1式



日本橋梁株式会社

常に新しい技術と品質の向上に挑戦



綾羅木川橋 (山口県)



竜の口橋りょう (宮城県)



山崎高架橋 (神奈川県)



鵜飼橋 災害復旧工事 (京都府)

新設鋼橋

当社は、我が国有数の歴史と優れた実績を誇る、鋼橋の設計・製作・架設会社であり、「品質の日本橋梁」として、その技術と品質を長年にわたり評価していただいてまいりました。この誇りを胸に、私たち日本橋梁は、「大正・昭和・平成の90余年、代々受け継いだ貴重なノウハウ」を駆使して、人々の生活道路の橋から、鉄道橋、海峡を渡る長大橋まで、あらゆる種類の橋梁構造物を、高い品質と高い安全性で、また、環境への配慮を常に怠ることなく、実現してまいります。

補修補強

さらに、当社が架けた歴史的な橋梁などの長寿命補修・補強技術の実績を持って、社会資本の高齢化時代における維持管理の課題にも貢献してまいります。

日置川橋上部工事



本工事は、国土交通省が建設を推進している近畿自動車道紀勢線の一部、日置川橋を製作・施工する工事です。

近畿自動車道紀勢線は、京阪神と紀南を結ぶ延長335kmの高速自動車国道で、輸送時間の短縮・一般道の混雑緩和を目的とし地域相互の産業、経済、文化、観光の振興と発展に寄与することを目指して建設中の幹線道路です。

- 【契約工事名称】 近畿自動車道紀勢線日置川橋上部工事
- 【発注者名】 国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所
- 【工事場所】 和歌山県西牟婁郡白浜町大古地先～安宅地先
- 【工期】 平成25年12月10日～平成27年7月28日
- 【工事概要】 鋼5径間連続合成2主桁桁橋
- 橋長： 276.0m
- 支間長： 49.9+58.0+58.0+58.0+49.9m
- 幅員： 総幅員10.15m 有効幅員9.51m
- 鋼重： 560.723トン
- 架設工法： トラッククレーンベント工法

Topix



安全帯を付けて

高所作業車試乗



目の前の架設状況に感動

記念写真をパチリ



去る1月9日に和歌山県白浜町立 日置小学校、安宅小学校 現場見学会を開催しました。当社より、橋の種類・工場製作から現場架設までの流れを説明し、その後、高所作業車試乗、バックホウ試乗、ボルト締付けを体験、550tクレーンによる桁架設(長さ35m、重量30t)を見学してもらいました。後日、たくさんの「日本きょうりょうさんへ」との可愛らしい感謝状も頂いています。

平成27年 株主様アンケート結果

平成27年2月実施の「株主アンケート」におきましては、数多くの株主様よりご回答を頂戴いたしました。ご回答いただきました株主の皆様におかれましては、お忙しい中ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

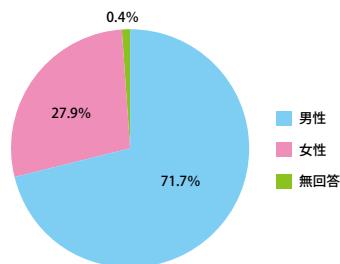
なお、頂戴いたしました株主様からの貴重なご意見・ご要望等につきましては、今後の経営やIR活動等の参考にさせていただきますと存じます。

以下に、今回の「株主アンケート」の結果についてご報告させていただきます。

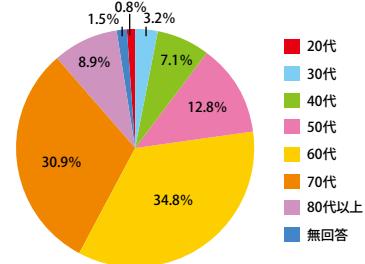
「株主アンケート」概要

アンケート方法	アンケートはがきを送付
アンケート対象者	平成26年9月30日時点株主名簿記載の200株以上を保有する株主
アンケート対象人数	36,264
アンケートご回答数	13,127
アンケートご回答率	36.2%

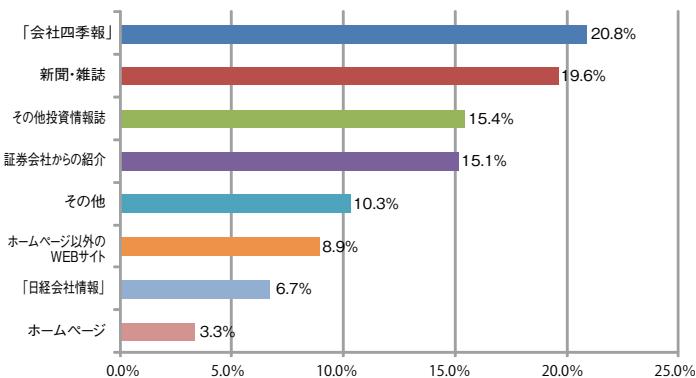
ご回答いただきました株主様の性別



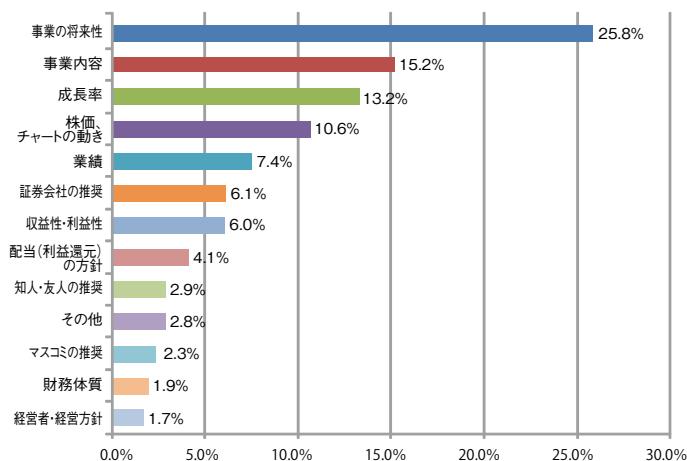
ご回答いただきました株主様の年代



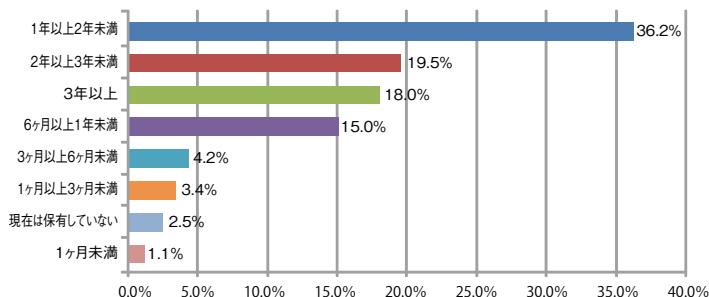
1. どのようにして当社をお知りになりましたか？(複数回答)



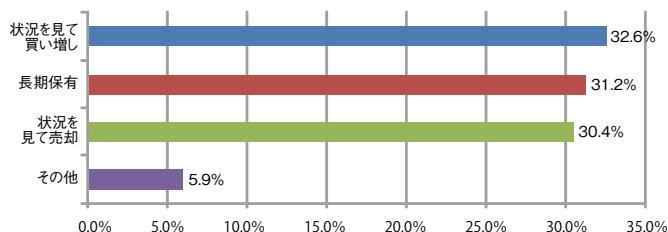
2. 当社株式を購入された際、重視されたポイントをお選びください。(複数回答)



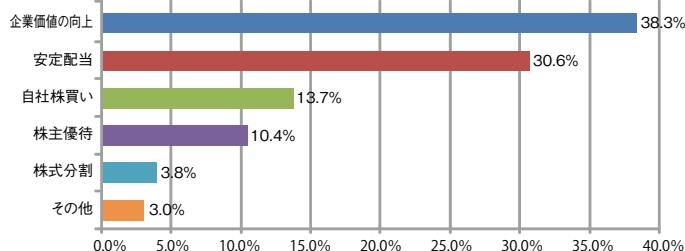
3. 当社株式をどのくらいの期間保有していますか？



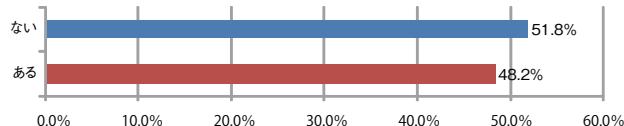
4. 今後の当社株式に関して、あなたのお考えにちかいいものをお選びください。



5. 今後、株主還元として、当社に最も期待することは何ですか？（複数回答）



6. 当社のホームページをご覧になったことはありますか？



株式に関するご案内

単元未満株式の買取制度について

当社の単元株式数である100株に満たない株式（単元未満株式）につきましては、株主総会における議決権がなく、株式市場で売買できないなどの制約がございます。

当社では、単元未満株式をお持ちの株主様が、単元未満株式を当社へ売却する制度（買取制度）を設けておりますので、ぜひご利用をご検討ください。

買取制度に関するお手続きの内容につきましては、以下までお問い合わせください。

証券会社にてご所有の株主様

▶ 各証券会社

特別口座に記録された株主様

▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

株式の状況

●株式の状況（平成27年3月31日現在）

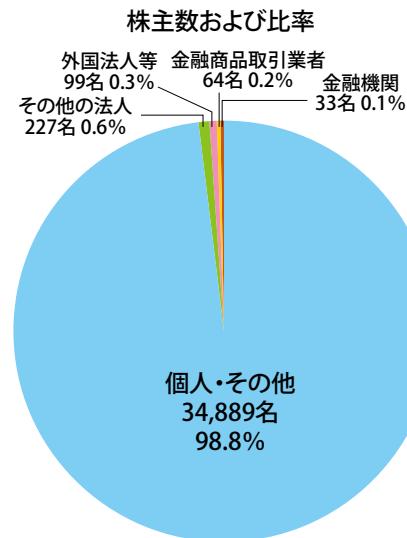
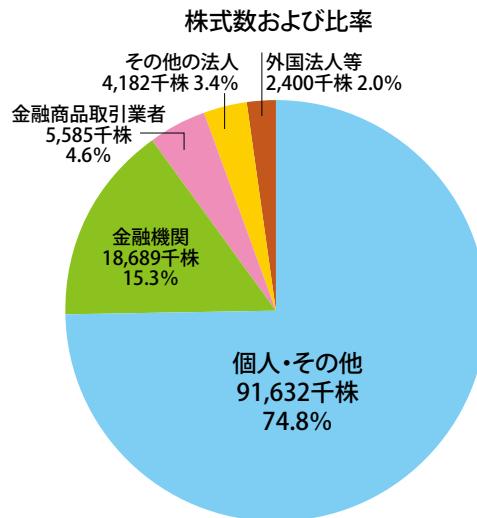
発行可能株式総数	138,809,400株
発行済株式の総数	122,487,332株
	（自己株式26,059株を除く）
株 主 数	35,313名

●大株主

株 主 名	持株数	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,100,400	7.42
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,924,700	4.02
株 式 会 社 S B I 証 券	978,800	0.79
松 井 証 券 株 式 会 社	901,100	0.73
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託口)	797,600	0.65
双 日 株 式 会 社	730,000	0.59
中 曾 根 要 造	600,000	0.48
神 鋼 鋼 線 工 業 株 式 会 社	600,000	0.48
永 田 伸 二	525,000	0.42
S I X S I S L T D .	503,000	0.41

(注) 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除した株式数を分母に用いて算出しております。

●所有者別株式の分布状況



■ 会社の概要

●会社概要

商 号 O S J Bホールディングス株式会社
創 業 平成26年(2014年)4月1日
資 本 金 10億円
売 上 高 (連結) 443億円(平成27年3月期)
従業員数 (連結) 781人
事業内容 グループ企業の経営計画ならびに管理
所 在 地 東京都江東区豊洲五丁目6番52号
T E L. 03-6220-0601
F A X. 03-6220-0602
U R L. <http://www.osjb.co.jp/>
株 式 東証 市場第一部
主要取引銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行

●取締役及び監査役

代表取締役社長 井岡 隆雄
取 締 役 高井 繁
取 締 役 坂下 清信
取 締 役 橋本 幸彦
社外取締役 土橋 昭夫
社外取締役 住江 清
常勤監査役 天野 和則
社外監査役 平井 利明
社外監査役 滝谷 政春
社外監査役 桃崎 有治

●グループ会社概要

商 号 オリエンタル白石株式会社
創 業 昭和27年10月21日
資 本 金 5億円
従業員数 619人
事業内容 プレストレストコンクリートの建設工事および製造販売
ニューマチックケーソンの建設工事
補修補強の建設工事
耐震補強建築工事の設計・施工
建設資材の販売
太陽光による発電事業及びその管理・運営並びに
電気の供給、販売
所 在 地 東京都江東区豊洲五丁目6番52号
U R L. <http://www.orsc.co.jp/>
役 員 代表取締役社長 井岡 隆雄
取 締 役 大野 達也 高橋 健次
山形 誠二 高井 繁
橋本 幸彦
常勤監査役 川島 東州
社外監査役 滝谷 政春 桃崎 有治

商 号 日本橋梁株式会社
創 業 大正8年7月7日
資 本 金 4,000万円
従業員数 112人
事業内容 橋梁等の鋼構造物の設計・製作・架設工事
所 在 地 大阪府大阪市西区江戸堀一丁目9番1号
U R L. <http://www.nihon-kyoryo.co.jp/>
役 員 代表取締役社長 坂下 清信
取 締 役 神谷 保 毛利 良介
監 査 役 遠藤 港

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
基準日 定時株主総会 3月31日
その他必要があるときは、取締役会で決議し、あらかじめ公告する一定の日
期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日

公告方法 当会社の公告方法は、電子公告とする。
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告は、日本経済新聞に掲載して行う。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL.(通話料無料)0120-232-711

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 特別口座に記録された株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。

TEL.(通話料無料) 0120-232-711(証券代行部)
ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
単元株式数 100株



OSJBホールディングス株式会社

〒135-0061 東京都江東区豊洲五丁目6番52号 (NBF 豊洲キャナルフロント)
TEL.03-6220-0601 FAX.03-6220-0602 URL.<http://www.osjb.co.jp/>